


**身体と言葉が躍動する！ 70分間のシェイクスピア
いわきアリオス初登場の演出家・小野寺修二が主宰する
カンパニーデラシネラによる新感覚の『ロミオとジュリエット』**

タイトル	カンパニーデラシネラ『ロミオとジュリエット』
内容	子どもも大人も楽しめる身体表現が繰り広げられる鑑賞公演／約400年前に書かれたシェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』の新しい魅力を引きだしながら、現代を生きる人々の共感を呼ぶ作品に仕上げた、演出家・振付家：小野寺修二の注目作。出演は唯一無二の世界観で、国内外の第一線で活躍するカンパニーデラシネラです。
開催日時	2017.12/2(土) 18:30開演 12/3(日) 14:00開演 ※上演時間 70分
会場	いわき芸術文化交流館アリオス 本館4階 小劇場
料金	全席自由／2,000円 高校生以下 1,000円 ※3歳以下入場不可 ※車いす席あり ※無料の託児サービスあり(公演の3週間前 11/11(土)までアリオステケットセンターにて受付)
予約開始	8/26(土) 10:00～ ※初日は電話・WEBのみの受付
ご予約 お問合せ	アリオステケットセンター 0246-22-5800 (10:00～20:00/毎週火曜定休) いわきアリオス WEB サイト http://iwaki-alios.jp

企画内容	 <p>4つのホール・劇場施設を持ついわきアリオスは、舞台芸術を通じ、市民にその魅力を伝え、新たな世界を発見する機会をつくるべく、様々なジャンルの質の高い鑑賞公演をお届けしています。この冬上演する『ロミオとジュリエット』は、世に出て約400年を経た今でも世界中で愛され、様々な形で演じられている名作戯曲。今回の『ロミオとジュリエット』は、いわきアリオス初登場となる小野寺修二主宰のカンパニーデラシネラが、高知県立美術館で2011年に初演後、全国各地の様々な場所で上演され好評を博している作品です。</p> <p>演出家・小野寺修二は、マイム(身体の動きのみであらゆるものを表現する技法)をベースに、言葉や舞台美術などを融合させた豊かな身体性、ユニークな視覚表現と巧みな空間構築が特徴で、世代・国籍を越えて注目を集める存在です。そんな小野寺修二率いるカンパニーデラシネラは、野外や美術館、学校の体育館、アートフェスティバルなど、劇場空間にとどまらない場での作品上演を、意欲的に行っています。『ロミオとジュリエット』は、2016年度にいわき市立川部小学校ほか、県内の小学校4校で上演され、子どもたちも魅了しました。初演から6年、当館の劇場空間を活かし、かつブラッシュアップした内容の『ロミオとジュリエット』を、いわきアリオスで再演いたします。</p>
スタッフ 出演者	[原作]ウィリアム・シェイクスピア [演出]小野寺修二 [翻訳]松岡和子 [美術]石黒 猛 [出演]浅井浩介、荒 悠平、大庭裕介、崎山莉奈、仁科 幸、藤田桃子
セールス ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・小野寺修二は自身のカンパニー活動のほか、演劇作品やテレビCMの振付・演出を手がけるなど幅広く活躍しています。 ・世界的に活躍するプロダクトデザイナー・石黒猛(いしぐろ たけし)を美術に迎え、本作のために製作した小道具や舞台美術も観どころの一つです。それら一つひとつは、象徴的なシーンや登場人物の内面を表現する、プロダクトデザイナーならではのアイデアが盛り込まれており、『ロミオとジュリエット』の作品世界へと誘います。 ・通常、ステージと客席に二分されている当館小劇場を、本作品ではステージを三方向から囲む客席形式で実施します。舞台と客席の境界線を取り払うことで、お客様に様々な角度から作品を鑑賞する楽しさや、劇場の多様性を感じていただく機会とします。
演出家 プロフィール	小野寺修二 おのでら・しゅうじ 日本マイム研究所を経て、95年～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを設立。15年度文化庁文化交流使としてベトナムとタイに滞在し、ワークショップと作品発表。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。＜主な演出作品＞『カラマーゾフの兄弟』(12年/新国立劇場他)、『変身』(14年/静岡県舞台芸術センター)、『あの大鴉、さえも』(16年/東京芸術劇場他)、『オフェリアと影の一座』(16年/りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館他)、瀬戸内国際芸術祭2013にて野外劇『人魚姫』、岡山県・犬島パフォーミングアーツ公演『URA-SHIMA』(15年)
名義	主催：いわき芸術文化交流館アリオス 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業